

「第4 将来像の実現に向けた戦略・施策」 について

目次

- 1 4章の位置づけと構成
- 2 戦略・施策の全体像
- 3 施策と主な事業

1 第4章の位置づけと構成

1 4章の位置づけと全体構成

◇位置づけ

- 2章で整理した「目指す将来像」の実現に向け、3章の課題を根拠に「何に取り組むか」を戦略・施策として組み立てる章（＝**本戦略の実行部分**）。

◇構成

本日

4-1 戦略・施策の全体像

●課題に対応する5つの戦略

3章で整理した交通の課題を踏まえ、5つの戦略とそれらに紐づく施策・事業の全体像を整理する。

4-2 施策と主な事業

●戦略を実現する施策・事業

5つの戦略ごとに、それを実現する施策と主な事業の内容を整理する。

4-3 ロードマップ

●施策・事業の工程

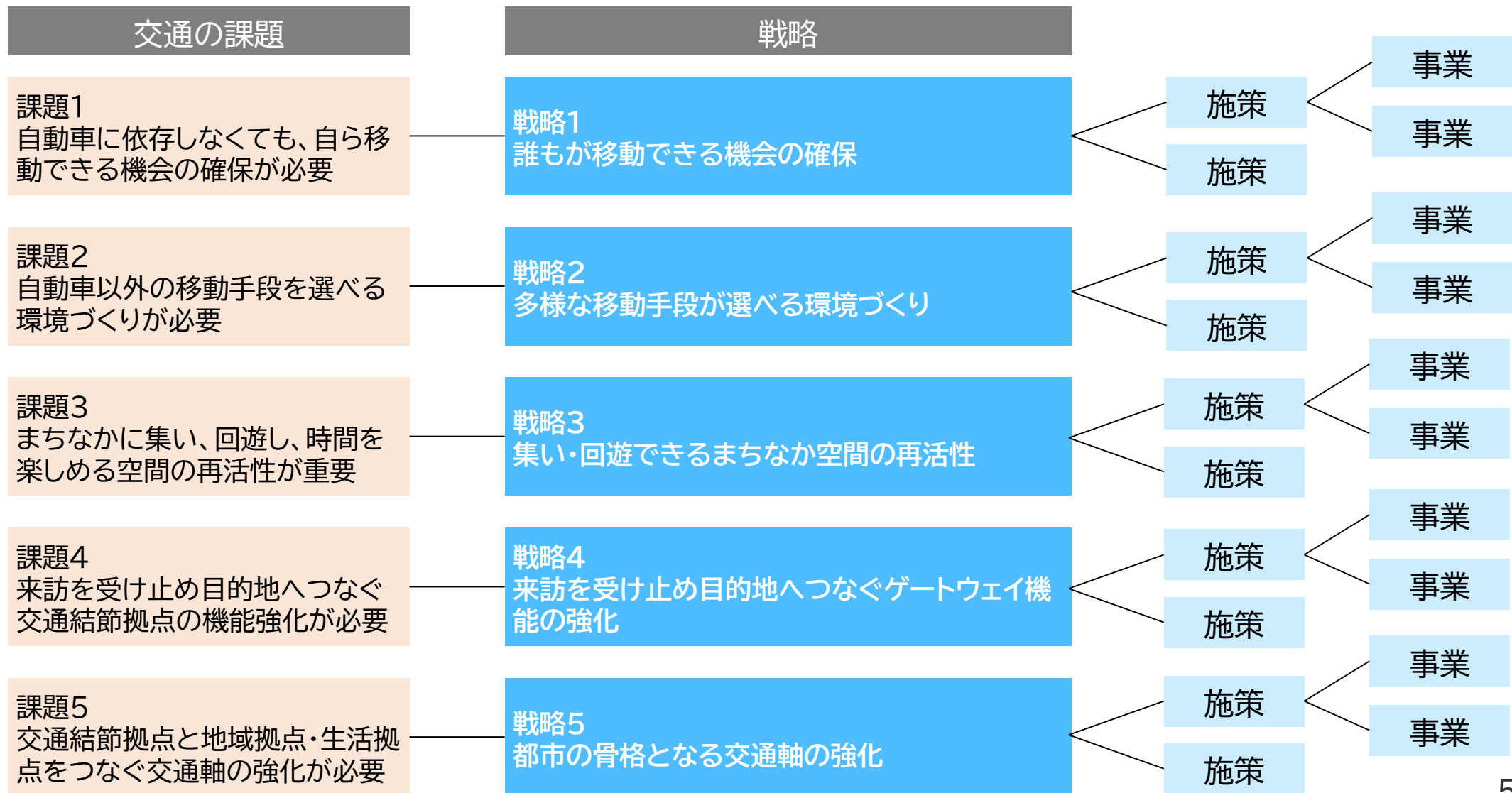
施策・事業の取組みの順序や時間軸を、工程（ロードマップ）として整理する。

2 戦略・施策の全体像

3章で整理した交通の課題を踏まえ、5つの戦略とそれらに紐づく施策・事業の全体像を整理する。

2 戦略・施策の全体像

- 交通の課題に対して、5つの戦略(施策パッケージ)を設定する。
- 現戦略は手段ごとに戦略を設定しているが、次期戦略では、**役割、目的ごとに戦略を設定**する。
→ **各施策・事業が何を目的とするものをより明確化**し、実行力を高める



3 施策と主な事業

5つの戦略ごとに、それを実現する施策と主な事業の内容を整理する。

3 施策と主な事業

- 施策と主な事業を検討する上で、まず、“現戦略”の施策を次期戦略の戦略に紐付けた。
- これをベースに次回委員会に向け、施策と事業を検討していくため、現時点で施策に対する過不足などのご意見を頂きたい。

戦略	(参考)“現戦略”の施策	次期戦略の施策
戦略1 誰もが移動できる 機会の確保	・路線バス等の運行・再編 ・運行環境の整備・利便性向上 ・利用促進・啓発事業 ・自転車を活用した人中心の通行空間・都市環境づくり	次回委員会 に向け検討
戦略2 多様な移動手段が 選べる環境づくり	・運行環境の整備・利便性向上 ・自転車を活用した人中心の通行空間・都市環境づくり ・歩行者や自転車事故のない安全で安心なまちづくり ・市民の自転車利用による脱炭素・健康まちづくり ・自動車利用抑制 ・城・駅・森のトライアングルエリアを中心とした歩行・滞留空間の創出	
戦略3 集い・回遊できる まちなか空間の再活性	・自転車を活用した人中心の通行空間・都市環境づくり ・広域鉄道網の利用促進 ・城・駅・森のトライアングルエリアを中心とした歩行・滞留空間の創出 ・恒常的な歩行者空間の創出	
戦略4 来訪を受け止め目 的地へつなぐゲートウェイ 機能の強化	・運行環境の整備・利便性向上 ・デジタルトランスフォーメーションを用いた回遊促進	
戦略5 都市の骨格となる 交通軸の強化	・公設民営体制の構築 ・運行環境の整備・利便性向上 ・幹線道路の整備 ・幹線道路網の配置 ・広域的なネットワークの整備促進 ・広域鉄道網の利用促進 ・信州まつもと空港の路線拡充・機能強化の推進	